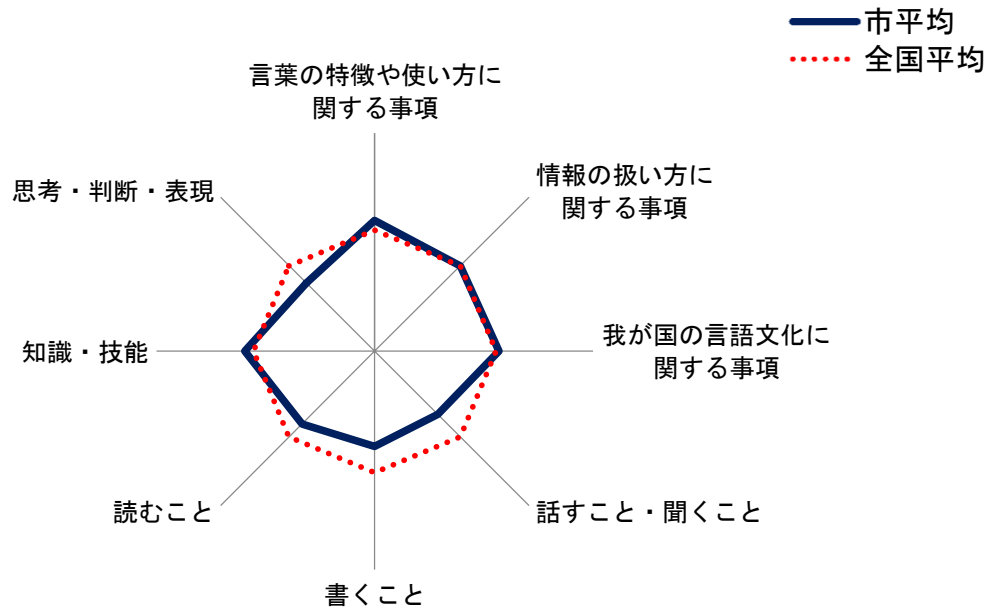
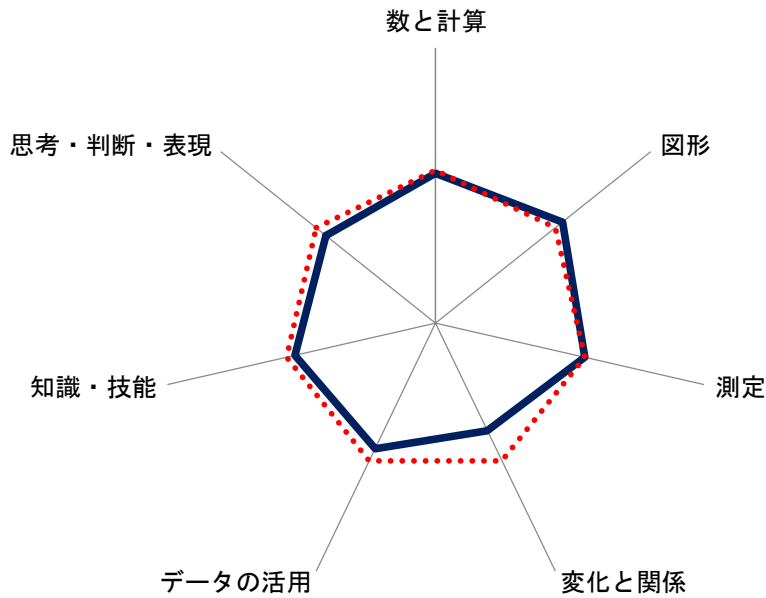


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

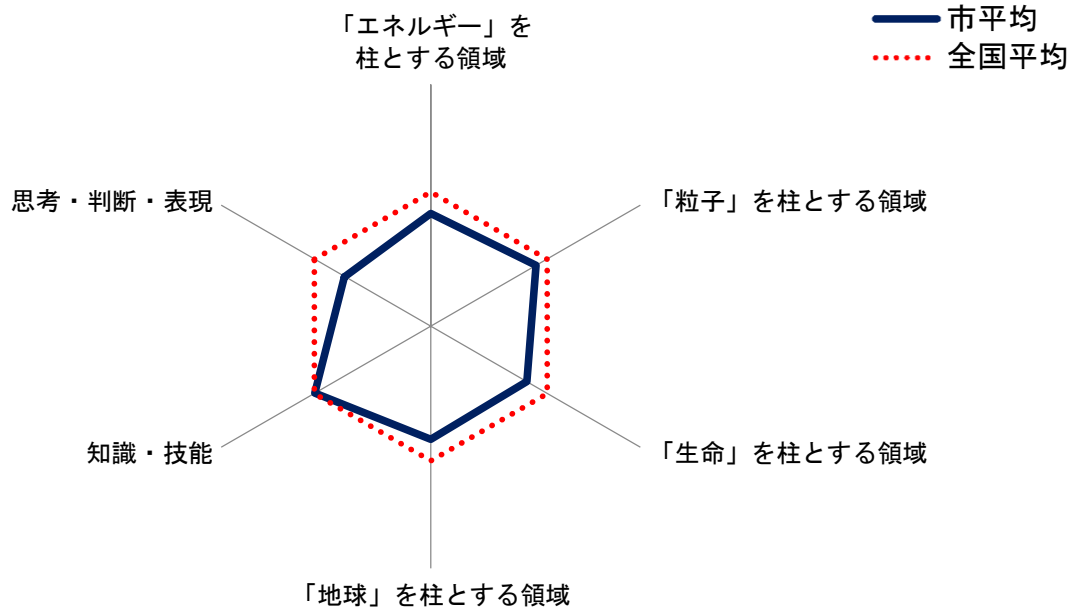


【算数】

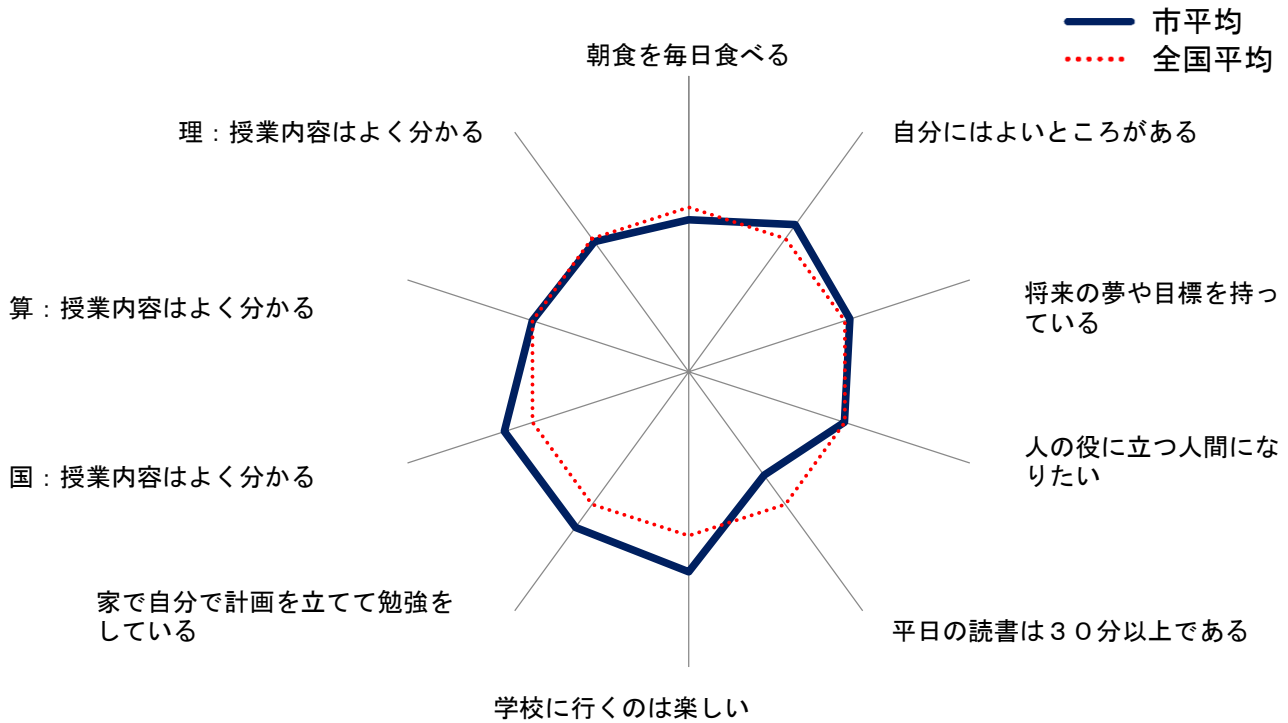


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」、算数の「図形」の項目は、全国平均を上回っているものの、「思考・判断・表現」の項目は、3教科とも全国平均を下回っており、学力の定着と向上に向けて、児童一人一人の課題を分析し、基礎的な知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成が、引き続き望まれる。

児童質問紙調査では、「学校に行くのは楽しい」「将来の夢や目標を持っている」の項目が、前回調査に引き続き全国平均を上回っており、結果は良好である。一方、「朝食を毎日食べる」「平日の読書は30分以上である」などの項目が全国平均を下回っており、学力向上の基盤となる基本的な生活習慣や読書習慣の確立に向けて、今後、学校と家庭、地域が一体となって、より一層子供たちを支えていくことが望まれる。